

科 目 名	保育実習Ⅲ(施設)					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	櫻 井 京 子・二 宮 貴 之・井 上 聖 子						
開 講 年 次	4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	保育実習Ⅲは、保育実習Ⅰで経験した実習の課題をふまえて、その後大学で習得した知識や技能を基礎として、利用者の周辺環境の理解をさらに深め、一人ひとりの利用者に応じた生活支援等を行う力を養うものである。実践を通して各施設の置かれている状況や役割を理解し、利用者の心身の発達状況や1日の生活の流れを把握する。また施設における保育士の役割や職務を理解し、自らの保育観・倫理観をさらに深め、新しい学習課題を発見する機会とする。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 施設実習の意義・目的や実習の心得を述べることができる。 2) 各施設の役割や生活の流れ・利用者の状況等を述べることができる。 3) 利用者への配慮・援助について説明できる。 4) 指導案(日案)を作成することができ、その内容について説明できる。 5) 実習日誌の意義と記録方法を述べ、書くことができる。 6) 保育士としての責任感をもち、倫理観を確立する。 7) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。						
学 習 方 法	・施設実習10日間						
テキスト及び 参考書等	テキスト：①保育所保育指針 解説書 厚生労働省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」「保育実習」の手引き (本学子ども学部発行) 参考図書：③保育園 幼稚園の実習 完全マニュアル 林幸範・石橋裕子編著 成美堂出版						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート				○	○	5	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度				○	○	5	
その他	○	○		◎	○	90	
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
	保育実習指導Ⅲに基づき、保育実習Ⅰを履修後、施設実習(10日間)を展開する。実習は観察・参加や実習指導者の指導を受けて指導案を作成し、責任実習等を行う。また、実習した内容は実習日誌に詳細に記録する。実習の前後にオリエンテーションと事後指導等を受講し、実習を充実かつ効果的なものにする。						
備 考	・体調管理を十分に行い、遅刻・早退・欠席をしないこと。 ・実習日誌、指導案等の提出期限を厳守すること。 ・授業外学習(事前学習・事後学習)を適宜行うこと。 ・学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。履修内規に反した場合は実習に参加できない。						